



病児保育室だより

# わかば

2023. 6月号



紫陽花がきれいに咲く季節となりました。この時期は、急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったり体調を崩しがちです。また、この時期に感染しやすい病気の対策を病児保育室でも行ってありますが、保護者の皆様にも感染予防をして頂けるよう、今回は“この時期にかかりやすい病気と症状”についてお知らせ致します♪



## 春から夏にかけてかかりやすい病気



### ヘルパンギーナ

(症状)ウイルス性の夏かぜの一種です。喉の痛みに伴い、突然の39℃以上の高熱が2～4日続きます。喉の奥が赤くなり小さな水疱(水ぶくれ)が見えるのがこの病気の特徴です。水疱は破れて痛むので不機嫌になったり、食事や水分がとれなくなって脱水症になることもあります。熱性けいれんを伴うこともあります。

### 手足口病

(症状)乳幼児の間で流行するウイルス性の夏かぜです。手のひら、足の裏、口の中等に赤い発疹や小さな水疱ができます。大きさは米粒ほどです。手足にできた水疱はかゆみや痛みは特にありませんが、口の中の水疱はつぶれて潰瘍になり痛みます。熱は出たり出なかったりとその年の流行するウイルスの種類によります。

### ホーム ケア

発熱やのどの痛みで食欲が落ちるので、水分補給が大切です。湯冷ましや麦茶、イオン飲料、薄めたスープなど口当たりのいいものを少量ずつでもこまめに飲ませてあげてくださいね。



原因となるウイルスは、回復後も数週間から数か月間、子どもの便から排泄されます。おむつ替え後、トイレ後は念入りに手洗いをするなど、家族に感染しないよう心がけましょう。

## 気持ちよく過ごす

### 服の ポイント

春先から梅雨の時期は、暑いと感じる日があれば、肌寒く感じる日もあり、朝と日中の気温差が大きい日がしばしばあります。

寒いと風邪をひきそうで心配になりますが、子どもは体を動かすとすぐに暑がるもの。重ね着など、こまめに調節できる衣服を用意するといいですね。

#### 上着は重ね着で

気温差の大きい時期は、厚手のものを着せるより、長そでシャツの上に、半そでシャツやベストを重ね着するほうが調節しやすく、快適に過ごせます。

#### タイツは避けて!

手や足先は体温調節を担っていて、汗をたくさんかきます。園では、タイツは避けてください。

#### 着替えには 長そでと半そでを

気温やその日の活動に合わせて衣類を選べるよう、園の着替えには長そでと半そでの両方の衣類を用意してください。



## 病児保育室情報



2023年4月より、月曜日も開室日になりました!  
平日の月～金曜日の連日利用が可能です♪



### 最近の利用の様子



病児保育室の利用の詳細は、(右記のQRコードより)病児保育室 HP にあります。ご不明な点がございましたらお気軽に下記へお電話ください。(平日8-17時)



お問い合わせ先 TEL090-1664-6779(病児保育室直通)

もえぎ野わかば保育園  
病児保育室 HP